

## 印西大師 番外 白井新田・橋本大師

- 1 名称 (No.287)〔資料館：○印〕
- 2 場所 白井市根151-2 橋本梨園  
旧第77番観音堂跡から道程約400m  
富ヶ谷・薬師堂から道程約1,960m  
個人で管理されている御堂です。道路側から大師堂と手水舎の屋根が見えますが出入口の扉は閉められています。私有地なので勝手に入ることとはできません。  
GPS座標 35.783042336012606, 140.04624842019024
- 3 由緒
- 4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。
- 5 境内 大師堂と手水舎のほか、四国八十八ヶ所順拝記念碑が2塔あり。
- 6 写真 (2022.11撮影)



大師堂



御大師様



大師堂



四国八十八ヶ所順拝記念碑 2塔



手水舎と大師堂の屋根 (道路側から)



手水舎と大師堂 (道路側から)

## 7 情報

## (1) 橋本大師

この札所名は、「白井大師巡拝路」(2003年白井市教育委員会「白井市の民俗1」)に「橋本大師様」とあること、また「白井市の民俗2」(2006白井市教育委員会発行)の「平成17年白井大師の記録」には「橋本大師」と、さらに昭和63年の白井大師巡拝順路図でも「橋本大師様」とあることから、橋本大師としたものです。

## (2) 観音堂と橋本内神

「白井組合大師札所寺院部落(白井谷清大師寺院札所二十六か所)」(梶原家文書の写し)には、「第六番 (印) 七十七番 観音菩薩 白井新田 観音堂 | 橋本内神」とあります。昭

和55年に印西大師第77番札所は師戸の広福寺へ遷座してしまいますが、その前は、橋本大師が白井大師第6番と印西大師第77番を兼ねていたのでしょうか。それとも「白井新田」には、白井大師第6番・印西大師第77番の「観音堂」のほか、番外の札所として「橋本内神」があるということを示しているのでしょうか。

### (3) 2022.11現地調査

御先祖様(橋本吉兵エ氏)が四国八十八ヶ所を順拝したときの古い記念碑と、その御子孫が順拝したときの新しい記念碑がありました。代々熱心に取り組んできた証です。

以前はこの場所は梨畑だったが住まいが道路工事の立ち退きで現在の場所に移転したそうです。また、昔は春の印西大師と秋の白井大師でたくさんの人が来てにぎやかで、御接待もしたとのことでした。

橋本大師の御堂の中の大師像は1体だけでした。共同墓地の御堂にあった大師像がここにあるものなのか。その点について聞き漏らしてしまいました。

### (4) 結願地区

「白井谷清村大師巡回簿」には、大正15年度(9月21、22日)の結願場所は白井新田「吉兵衛宅」と記載があり、また昭和15年度(9月21、22日)は「白井新田堂始め」と記載がある(高花宏行「白井組合大師資料から見た白井大師の概要」白井市郷土史の会機関紙「たいわ」No.37)とのことなので、大正15年は橋本吉兵衛宅において結願が執り行われ、昭和15年も同様に結願区となったようです。昭和18年度は第1日目の宿泊地区となっています。戦後も昭和35年度、昭和45年度及び昭和55年度は「白井新田」が結願地区だったようなので、白井大師に熱心に取り組んできた地区であることがわかります。しかし、その後は結願区にも中食や泊りの地区にも「白井新田」は出てきません。昭和55年を最後に、印西大師だけでなく白井大師からも脱退したのでしょうか。それとも、(印西大師からは脱退したが、白井大師については)七次地区と合併し、結願は七次・長楽寺にお願いすることになったのでしょうか。

### (5) 開村四百年記念碑(白井町調査報告書から)

天神社に昭和51年(1976年)に建立された開村四百年記念碑があります。そこには「一六〇三年から一七一七年までの百余年戸数十三戸とは云え存在は明らか」で、江戸時代からの「先代」の名がたくさん記されています。1603年から1707年までの間に、橋本姓だけで「元和 橋本仁右衛門 根 念仏塚 446」、「明暦 橋本仁左衛門 根 念仏塚 439」、「元文 橋本孫兵衛 根 念仏塚 438」と三名出ています。橋本家は、江戸時代初期に白井新田に入った開拓者の末裔ということになります。